



平成28年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 オエノンホールディングス株式会社
コード番号 2533 URL <http://www.oenon.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西永 裕司

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション室長 (氏名) 牛込 真澄

TEL 03-3575-2777

四半期報告書提出予定日 平成28年8月5日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家・アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年12月期第2四半期の連結業績(平成28年1月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第2四半期	38,511	△1.6	918	117.3	755	109.2	504	200.9
27年12月期第2四半期	39,139	△1.7	422	△19.4	360	△25.6	167	33.2

(注) 包括利益 28年12月期第2四半期 346百万円 (△23.9%) 27年12月期第2四半期 455百万円 (246.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第2四半期	8.05	—
27年12月期第2四半期	2.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年12月期第2四半期	50,731	20,762	36.7
27年12月期	57,297	20,869	32.7

(参考) 自己資本 28年12月期第2四半期 18,622百万円 27年12月期 18,751百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	—	—	—	7.00	7.00
28年12月期	—	—	—	—	—
28年12月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年12月期の連結業績予想(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	81,400	△1.1	1,700	5.0	1,500	5.5	600	152.3	9.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年12月期2Q	65,586,196 株	27年12月期	65,586,196 株
② 期末自己株式数	28年12月期2Q	2,853,399 株	27年12月期	2,849,141 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年12月期2Q	62,734,394 株	27年12月期2Q	62,743,517 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。
なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在における将来の見通し、計画の元となる前提、予測を含んで記載しております。実際の業績は、今後の様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11
(追加情報)	12

○第2四半期決算 参考資料

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業業績や雇用情勢に改善の動きが見られ緩やかな景気回復基調にあるものの、中国やアジア新興国経済の減速や英国のEU離脱決定、不安定な円相場など景気下振れリスクの懸念もあり、先行きが不透明な状況で推移いたしました。

酒類業界におきましては、国内の人口減少や少子高齢化により市場の伸張が期待しにくく、かつ消費の二極化・複層化が進む中、企業間の販売競争が激化しており、厳しい経営環境となっております。

このような経営環境の下、当社グループは「長期ビジョン100」の実現に向けた「中期経営計画2020」を策定し、当社グループの持続的な成長及び中長期的な企業価値の向上に向けた取組みを進めております。この取組みの中、当第2四半期連結累計期間の売上高は、38,511百万円(前年同期比1.6%減)となりましたが、利益面では、原材料価格やエネルギーコストの低減などにより、営業利益は918百万円(前年同期比117.3%増)、経常利益は755百万円(前年同期比109.2%増)となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は504百万円(前年同期比200.9%増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

販売実績

セグメントの名称	アイテム	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日) (百万円)	前年同期比 (%)	
酒類	和酒部門	焼酎	18,821	100.6
		チューハイ	3,575	97.8
		清酒	2,849	93.7
		合成清酒	1,502	90.3
		販売用アルコール	3,780	122.5
		みりん	227	93.3
			30,757	101.2
	洋酒部門	2,992	93.6	
	その他の部門	625	108.0	
		34,374	100.6	
加工用澱粉		1,976	99.0	
酵素医薬品		1,983	85.6	
不動産		165	94.1	
その他		10	97.4	
	合計	38,511	98.4	

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

【酒類事業】

酒類事業については、市場の停滞や販売競争激化の影響がありましたものの、消費者の嗜好の変化や多様化に対応すべく商品の拡充を行い、テレビCM等による積極的なプロモーション展開を行った結果、酒類事業合計の売上高は34,374百万円(前期同期比0.6%増)となりました。利益面につきましては、原材料価格やエネルギーコストの低減などの影響により、営業利益は216百万円(前年同期は439百万円の営業損失)となりました。

和酒部門のうち焼酎においては、本格焼酎の「博多の華」シリーズ、「黒海渡(くろかいと)」、甲類乙類混和焼酎の「すごむぎ」「すごいも」、甲類焼酎の「ビッグマン」シリーズが好調に推移した結果、焼酎の売上高は増加いたしました。「ビッグマン」シリーズでは、ラグビー日本代表のリーチ マイケル氏をCMキャラクターとして起用し、さらに「ビッグマン 20% 30周年記念ボトル」を数量限定で発売するなど積極的なプロモーションを展開しております。なお、しそ焼酎「鍛高譚(たんだかたん)」720ml、「博多の華 むぎ 三年貯蔵」720mlをはじめとした「博多の華」シリーズの6アイテムが、モンドセレクション優秀品質金賞を受賞いたしました。

チューハイ、カクテル等の低アルコール飲料においては、好評の国産素材にこだわったチューハイ「NIPPON PREMIUM」シリーズに「和歌山県産南高梅のチューハイ」「静岡産新茶ブレンド緑茶ハイ」を追加で投入いたしました。

清酒においては、酒造好適米「神力」を使用した「特別純米 富久娘」、秋田県産の酒米「秋田酒こまち」と秋田県の天然水を使用した「一滴千両 純米大吟醸酒」を発売し、高品質な酒造りを実践しております。

洋酒部門においては、「鍛高譚」ブランドより、焼酎でもない、梅酒でもない、新しいお酒として「鍛高譚R(アール)」を北海道エリア先行で新発売しております。

なお、「鍛高譚の梅酒」500mlがモンドセレクションにおいて、初出品で優秀品質金賞を受賞し、その高い品質が評価されました。

その他の部門については、飲食店の売上高が増加しております。茨城県牛久市のシャトーカミヤでは、東日本大震災で被災した国指定重要文化財「シャトーカミヤ旧醸造場施設」の災害復旧工事が3月に完了し、7月から全館で営業を再開しております。

なお、シャトーカミヤにある牛久ブルワリーで醸造したクラフトビール「牛久シャトービール」3品種がアジア・ビアカップ 2016において受賞し、その中で牛久産小麦を原料に使用した「ホワイトIPA」が金賞を受賞いたしました。

【加工用澱粉事業】

加工用澱粉事業については、シリアル及びビール用グリッツの販売数量が減少したため、売上高は1,976百万円(前年同期比1.0%減)となりましたが、原材料価格の低減等により営業利益は124百万円(前年同期比314.0%増)となりました。

【酵素医薬品事業】

酵素医薬品事業については、診断薬が増加したものの、酵素及び原薬試薬等が減少したため、売上高は1,983百万円(前年同期比14.4%減)、営業利益は453百万円(前年同期比34.0%減)となりました。

【不動産事業】

不動産事業については、売上高は165百万円(前年同期比5.9%減)となりましたが、営業利益は118百万円(前年同期比1.2%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債および純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産につきましては、50,731百万円となり、前連結会計年度末と比較し6,566百万円の減少となりました。これは主に売上債権の減少と投資有価証券の時価評価による減少によるものであります。

負債につきましては、29,968百万円となり、前連結会計年度末と比較して6,459百万円の減少となりました。これは主に未払酒税の減少と支払手形及び買掛金の減少によるものであります。

純資産につきましては、20,762百万円となり、前連結会計年度末と比較して106百万円の減少となりました。これは利益剰余金が増加したものの、その他有価証券評価差額金等が減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は、1,392百万円(前年同期比388百万円増)となり、前連結会計年度末と比較して270百万円の減少となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、50百万円(前年同期比531百万円減)の資金減少となりました。これは主に、売上債権の減少額5,865百万円等がありましたものの、未払酒税の減少額4,064百万円、仕入債務の減少額1,156百万円等を計上したことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローについては、固定資産の取得による支出650百万円等がありましたので、466百万円(前年同期比332百万円増)の資金減少となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出440百万円、配当金の支払額438百万円がありましたものの、短期借入金の純増加額1,150百万円がありましたので、246百万円(前年同期比657百万円増)の資金増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成28年7月29日発表の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社の異動は、以下のとおりであります。

(酒類事業)

平成28年1月1日に合同酒精株式会社と北の誉酒造株式会社は、合同酒精株式会社を存続会社とする100%子会社同士の合併を行っております。

この結果、平成28年6月30日現在では、当社グループは、当社及び子会社10社により構成されております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び
「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)
等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を
資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたし
ました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による
取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更
いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行って
おります。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結
財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

当第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴わない子会社
株式の取得又は売却に係るキャッシュ・フローについては、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載し、
連結範囲の変動を伴う子会社株式の取得関連費用もしくは連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に
関連して生じた費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び
事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点か
ら将来にわたって適用しております。

なお、当第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結財務諸表等におけるキ
ャッシュ・フロー計算書の作成に関する実務指針第26-4項に定める経過的な取扱いに従っており、比較情報の組替
えは行っておりません。

この結果、当第2四半期連結累計期間の税金等調整前四半期純利益は4百万円減少しております。また、当第2
四半期連結会計期間末の資本剰余金が4百万円増加しております。

(減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い等の適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告
第32号 平成28年6月17日)を当第2四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備
及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表への影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,667	1,396
受取手形及び売掛金	21,892	16,027
商品及び製品	6,731	7,156
仕掛品	185	268
原材料及び貯蔵品	1,009	700
繰延税金資産	637	573
その他	431	386
貸倒引当金	△16	△9
流動資産合計	32,540	26,500
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	25,681	25,777
減価償却累計額	△18,117	△18,390
建物及び構築物(純額)	7,563	7,386
機械装置及び運搬具	32,366	32,559
減価償却累計額	△28,760	△29,201
機械装置及び運搬具(純額)	3,606	3,358
その他	1,982	2,038
減価償却累計額	△1,809	△1,847
その他(純額)	172	191
土地	8,797	8,834
建設仮勘定	1,141	1,372
有形固定資産合計	21,281	21,142
無形固定資産		
のれん	328	296
その他	376	347
無形固定資産合計	704	643
投資その他の資産		
投資有価証券	1,991	1,718
退職給付に係る資産	80	—
繰延税金資産	295	341
その他	410	391
貸倒引当金	△6	△7
投資その他の資産合計	2,770	2,444
固定資産合計	24,757	24,230
資産合計	57,297	50,731

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,593	4,691
電子記録債務	1,213	959
短期借入金	4,050	5,170
リース債務	12	21
未払金	4,479	3,647
未払酒税	9,509	5,444
未払法人税等	607	240
賞与引当金	59	57
役員賞与引当金	41	20
設備関係支払手形	349	355
その他	1,737	1,116
流動負債合計	27,654	21,726
固定負債		
長期借入金	2,410	2,000
長期預り金	3,342	3,199
リース債務	26	45
退職給付に係る負債	1,474	1,360
資産除去債務	126	126
繰延税金負債	283	223
その他	1,109	1,285
固定負債合計	8,773	8,242
負債合計	36,428	29,968
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,946	6,946
資本剰余金	5,576	5,580
利益剰余金	6,239	6,305
自己株式	△565	△566
株主資本合計	18,196	18,265
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	639	474
繰延ヘッジ損益	△11	△58
退職給付に係る調整累計額	△73	△60
その他の包括利益累計額合計	554	356
非支配株主持分	2,118	2,140
純資産合計	20,869	20,762
負債純資産合計	57,297	50,731

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)
売上高	39,139	38,511
売上原価	32,215	31,164
売上総利益	6,923	7,346
販売費及び一般管理費	6,501	6,428
営業利益	422	918
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	21	19
受取賃貸料	39	40
雑収入	21	25
営業外収益合計	82	85
営業外費用		
支払利息	81	62
操業休止等経費	40	96
為替差損	8	77
雑損失	13	12
営業外費用合計	144	248
経常利益	360	755
特別利益		
国庫補助金等受贈益	2	—
負ののれん発生益	18	—
固定資産売却益	—	26
受取保険金	—	44
その他	0	—
特別利益合計	20	71
特別損失		
固定資産除売却損	6	7
投資有価証券評価損	11	7
その他	0	0
特別損失合計	17	15
税金等調整前四半期純利益	363	811
法人税等	177	260
四半期純利益	186	550
非支配株主に帰属する四半期純利益	19	45
親会社株主に帰属する四半期純利益	167	504

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	186	550
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	277	△169
繰延ヘッジ損益	△49	△47
退職給付に係る調整額	40	13
その他の包括利益合計	268	△203
四半期包括利益	455	346
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	433	306
非支配株主に係る四半期包括利益	22	39

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	363	811
減価償却費	854	876
のれん償却額	31	31
負ののれん発生益	△18	-
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△5	△113
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△5	80
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△11	△6
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△10	△20
受取利息及び受取配当金	△21	△19
支払利息	81	62
固定資産売却益	-	△26
固定資産除売却損	6	7
投資有価証券評価損	11	7
受取保険金	-	△44
売上債権の増減額 (△は増加)	6,802	5,865
たな卸資産の増減額 (△は増加)	66	△197
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,167	△1,156
未払酒税の増減額 (△は減少)	△4,419	△4,064
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	457	△26
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△2,327	△1,379
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	113	△155
その他	45	20
小計	846	552
利息及び配当金の受取額	21	19
利息の支払額	△107	△85
保険金の受取額	-	44
法人税等の支払額	△279	△581
営業活動によるキャッシュ・フロー	481	△50
投資活動によるキャッシュ・フロー		
地方自治体からの補助金による収入	293	188
固定資産の取得による支出	△1,016	△650
固定資産の除売却による収支 (△は支出)	△5	20
投資有価証券の取得による支出	△3	△3
子会社株式の取得による支出	△35	-
その他	△32	△21
投資活動によるキャッシュ・フロー	△799	△466
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	500	1,150
長期借入金の返済による支出	△440	△440
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△17	△10
配当金の支払額	△439	△438
非支配株主への配当金の支払額	△13	△3
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	-	△9
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△410	246
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△728	△270
現金及び現金同等物の期首残高	1,731	1,662
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,003	1,392

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成27年1月1日 至 平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	酒類	加工用 澱粉	酵素 医薬品	不動産	バイオエ タノール	合計			
売上高									
(1)外部顧客に 対する売上高	34,170	1,996	2,317	176	467	39,128	10	—	39,139
(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	2	—	—	—	—	2	—	△2	—
計	34,173	1,996	2,317	176	467	39,130	10	△2	39,139
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△439	30	686	117	23	417	4	—	422

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、倉庫業・荷役業等であります。

2 調整額は、セグメント間の取引消去であります。

3 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成28年1月1日 至 平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	酒類	加工用 澱粉	酵素 医薬品	不動産	合計			
売上高								
(1)外部顧客に 対する売上高	34,374	1,976	1,983	165	38,500	10	—	38,511
(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	9	—	—	—	9	—	△9	—
計	34,384	1,976	1,983	165	38,510	10	△9	38,511
セグメント利益	216	124	453	118	912	5	—	918

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、倉庫業・荷役業等であります。

2 調整額は、セグメント間の取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

「バイオエタノール事業」については、前連結会年度においてバイオエタノールの生産を終了したことに伴い、当第2四半期連結累計期間の報告セグメントから除外しております。

(追加情報)

法人税等の税率の変更による繰延税金資産及び繰延税金負債の金額の修正

「所得税法等の一部を改正する法律」(平成28年法律第15号)及び「地方税法等の一部を改正する法律」(平成28年法律第13号)が平成28年3月31日付で公布され、平成28年4月1日以後に開始する連結会計年度に適用される法人税率等が変更されることとなりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は、従来の32.3%から平成29年12月期及び平成30年12月期においては30.9%に、平成31年12月期以後に開始する連結会計年度においては30.6%に変更しております。

なお、この変更により当第2四半期連結累計期間の、繰延税金資産の金額(繰延税金負債の金額を控除した金額)が73百万円、その他有価証券評価差額金が11百万円それぞれ増加し、退職給付に係る調整累計額が8百万円、法人税等が70百万円減少しております。

平成28年12月期 第2四半期決算 参考資料

1. 要約連結損益計算書
2. セグメント別売上高
3. 利益増減要因
4. 要約連結貸借対照表
5. 連結業績予想
6. 予想売上高

オエノンホールディングス株式会社

平成28年8月5日

1. 要約連結損益計算書

百万円未満切捨て

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減(△)	前年対比(%)
	自平成27年 1月 1日 至平成27年 6月30日	自平成28年 1月 1日 至平成28年 6月30日		
酒類事業	34,170	34,374	204	100.6
加工用澱粉事業	1,996	1,976	△ 20	99.0
酵素医薬品事業	2,317	1,983	△ 333	85.6
バイオエタノール事業	467	-	△ 467	-
不動産事業その他	186	176	△ 10	94.3
売上高	39,139	38,511	△ 627	98.4
売上原価	32,215	31,164	△ 1,050	96.7
売上総利益	6,923	7,346	422	106.1
販売費及び一般管理費	6,501	6,428	△ 72	98.9
酒類事業	△ 439	216	655	-
加工用澱粉事業	30	124	94	414.0
酵素医薬品事業	686	453	△ 233	66.0
バイオエタノール事業	23	-	△ 23	-
不動産事業その他	121	124	2	101.7
営業利益	422	918	495	217.3
営業外収益	82	85	3	103.6
営業外費用	144	248	104	172.4
経常利益	360	755	394	209.2
特別利益	20	71	50	344.6
特別損失	17	15	△ 2	86.0
税金等調整前四半期純利益	363	811	447	223.0
法人税等合計	177	260	83	147.3
四半期純利益	186	550	363	294.8
非支配株主に帰属する四半期純利益	19	45	26	240.6
親会社株主に帰属する四半期純利益	167	504	337	300.9
1株当たり四半期純利益※円	2.67	8.05	5.38	301.4
設備投資額	862	662	△ 200	76.8

2. セグメント別売上高

百万円未満切捨て

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減(△)	前年対比(%)
	自平成27年 1月 1日 至平成27年 6月30日	自平成28年 1月 1日 至平成28年 6月30日		
焼酎	18,703	18,821	117	100.6
（甲類焼酎）	(7,737)	(7,720)	(△ 16)	(99.8)
（乙類焼酎）	(10,966)	(11,100)	(134)	(101.2)
チューハイ	3,656	3,575	△ 80	97.8
清酒	3,041	2,849	△ 192	93.7
合成清酒	1,664	1,502	△ 161	90.3
アルコール	3,085	3,780	694	122.5
みりん	243	227	△ 16	93.3
洋酒	3,196	2,992	△ 203	93.6
その他	578	625	46	108.0
酒類計	34,170	34,374	204	100.6
加工用澱粉	1,996	1,976	△ 20	99.0
酵素医薬品	2,317	1,983	△ 333	85.6
不動産	176	165	△ 10	94.1
バイオエタノール	467	-	△ 467	-
その他	10	10	△ 0	97.4
合計	39,139	38,511	△ 627	98.4

3. 利益増減要因

百万円未満切捨て

	利益増減(△)	主な増減要因
酒類事業	655	原材料コストの低下による原価減+870 売上高増加による総利益増+40 製品構成の影響等△255
加工用澱粉事業	94	原価の低減
酵素医薬品事業	△ 233	売上高の減少
バイオエタノール事業	△ 23	事業の廃止
不動産事業その他	2	
営業利益	495	
営業外収益	3	
営業外費用	△ 104	操業休止等経費
経常利益	394	
特別利益	50	受取保険金
特別損失	2	
税金等調整前四半期純利益	447	
法人税等	△ 83	
四半期純利益	363	
非支配株主に帰属する四半期純利益	△ 26	
親会社株主に帰属する四半期純利益	337	

4. 要約連結貸借対照表

百万円未満切捨て

	前連結会計年度 平成27年12月31日	当第2四半期 連結会計期間 平成28年6月30日	増減(△)	前年対比 (%)	主な増減要因
(資産の部)					
現金及び預金	1,667	1,396	△ 270	83.8	
受取手形及び売掛金	21,892	16,027	△ 5,865	73.2	季節要因による売上高減
たな卸資産	7,927	8,124	197	102.5	
繰延税金資産	637	573	△ 63	90.0	
その他	431	386	△ 44	89.6	
貸倒引当金	△ 16	△ 9	7	-	
流動資産合計	32,540	26,500	△ 6,039	81.4	
建物	6,023	5,923	△ 100	98.3	
土地	8,797	8,834	37	100.4	
その他	6,460	6,384	△ 75	98.8	
有形固定資産計	21,281	21,142	△ 139	99.3	
無形固定資産	704	643	△ 61	91.3	
投資有価証券	1,991	1,718	△ 272	86.3	時価の下落
長期前払費用	184	164	△ 20	89.0	
繰延税金資産	295	341	46	115.6	
その他	306	227	△ 78	74.3	
貸倒引当金	△ 6	△ 7	△ 0	-	
投資その他の資産計	2,770	2,444	△ 326	88.2	
固定資産合計	24,757	24,230	△ 526	97.9	
資産合計	57,297	50,731	△ 6,566	88.5	

百万円未満切捨て

	前連結会計年度 平成27年12月31日	当第2四半期 連結会計期間 平成28年6月30日	増減(△)	前年対比 (%)	主な増減要因
(負債の部)					
支払手形及び買掛金	6,807	5,650	△ 1,156	83.0	
短期借入金	4,050	5,170	1,120	127.7	
未払金	4,479	3,647	△ 832	81.4	季節要因による売上高減(割戻減)
未払酒税	9,509	5,444	△ 4,064	57.3	季節要因による売上高減
その他	2,808	1,813	△ 995	64.6	未払法人税及び未払消費税の減
流動負債合計	27,654	21,726	△ 5,928	78.6	
長期借入金	2,410	2,000	△ 410	83.0	
その他	6,363	6,242	△ 121	98.1	
固定負債合計	8,773	8,242	△ 531	93.9	
負債合計	36,428	29,968	△ 6,459	82.3	
(純資産の部)					
資本金	6,946	6,946	-	100.0	
資本剰余金	5,576	5,580	4	100.1	
利益剰余金	6,239	6,305	65	101.1	
自己株式	△ 565	△ 566	△ 0	-	
株主資本合計	18,196	18,265	68	100.4	
その他有価証券評価差額金	639	474	△ 164	74.2	
繰延ヘッジ損益	△ 11	△ 58	△ 46	-	
退職給付に係る調整累計額	△ 73	△ 60	13	-	
その他の包括利益累計額合計	554	356	△ 198	64.3	
非支配株主持分	2,118	2,140	22	101.1	
純資産合計	20,869	20,762	△ 106	99.5	
負債純資産合計	57,297	50,731	△ 6,566	88.5	

自己資本比率※%	32.7	36.7	4.0	
----------	------	------	-----	--

5. 連結業績予想

百万円未満切捨て

	前連結会計年度	当連結会計年度	増減(△)	前年対比(%)
	自 平成27年 1月 1日 至 平成27年12月31日	自 平成28年 1月 1日 至 平成28年12月31日		
酒類事業	73,424	73,056	△ 368	99.5
加工用澱粉事業	4,091	4,033	△ 57	98.6
酵素医薬品事業	3,972	3,947	△ 25	99.4
バイオエタノール事業	467	-	△ 467	-
不動産事業その他	368	362	△ 6	98.2
売上高	82,325	81,400	△ 925	98.9
売上原価	67,434	66,244	△ 1,189	98.2
売上総利益	14,890	15,155	264	101.8
販売費及び一般管理費	13,270	13,455	184	101.4
酒類事業	342	577	234	168.6
加工用澱粉事業	△ 34	25	60	-
酵素医薬品事業	1,040	863	△ 177	83.0
バイオエタノール事業	22	-	△ 22	-
不動産事業その他	248	233	△ 15	94.0
営業利益	1,619	1,700	80	105.0
営業外損益	△ 197	△ 200	△ 2	-
経常利益	1,422	1,500	77	105.5
特別損益	△ 551	△ 250	301	-
税金等調整前当期純利益	870	1,250	379	143.5
法人税等合計	670	626	△ 43	93.5
当期純利益	200	623	422	311.1
非支配株主に帰属する当期純利益	△ 37	23	60	-
親会社株主に帰属する当期純利益	237	600	362	252.3

6. 予想売上高

百万円未満切捨て

	前連結会計年度	当連結会計年度	増減(△)	前年対比(%)
	自 平成27年 1月 1日 至 平成27年12月31日	自 平成28年 1月 1日 至 平成28年12月31日		
焼 酎	39,979	40,168	189	100.5
(甲 類 焼 酎)	(16,108)	(16,008)	(△ 100)	(99.4)
(乙 類 焼 酎)	(23,870)	(24,159)	(289)	(101.2)
チ ュ ー ハ イ	7,871	7,703	△ 168	97.9
清 酒	6,513	6,098	△ 415	93.6
合 成 清 酒	3,584	3,240	△ 344	90.4
ア ル コ ー ル	6,654	7,381	726	110.9
み り ん	551	514	△ 37	93.3
洋 酒	7,062	6,685	△ 377	94.7
そ の 他	1,207	1,265	58	104.8
酒 類 計	73,424	73,056	△ 368	99.5
加 工 用 澱 粉	4,091	4,033	△ 57	98.6
酵 素 医 薬 品	3,972	3,947	△ 25	99.4
不 動 産	347	332	△ 15	95.7
バ イ オ エ タ ノ ー ル	467	-	△ 467	-
そ の 他	21	30	8	138.6
合 計	82,325	81,400	△ 925	98.9